＜小児科専門医の医師像・到達目標とマイルストーン＞

日本小児科学会　生涯教育・専門医育成委員会

平成 29 年 1 月

	マイルストーンの（評価）基準			
能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
（ここには小児科専門医として求められる能力の要素が項目ごとに記述されます）	小児科専門医更新時の能力レベル 優れた小児科専門医のレベル	小児科専門研修修了時の能力レベル 標準的な小児科専門医のレベル	初期研修修了時の能力レベル 初期研修修了者のレベル	学生実習修了時の能力レベル 医学部卒業生のレベル

F	レベルに関係なく、医師・医学生として不適格な行動・言動がある

マイルストーン　医師としての能力を、到達段階のレベルごとに具体的に記載したもの。各時点における専攻医の自己評価や指導医評価、目指すべき最終段階（アウトカムまたはゴール）の確認などに活用する。

Ⅰ　子どもの総合診療医１：子どもの総合診療

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
子どもの年齢・臓器の特性、家族背景、心理・社会的要因の考慮	複雑・特殊な要因もすべて十分に考慮できる	一般的な要因をすべて考慮できる	十分ではないが、要因を考慮できる	指導医の援助があれば考慮の必要性を認識できる
患児・家族とのコミュニケーション、信頼関係の構築	十分かつ適切で効果的に構築できる	適切に構築できる	十分ではないが、構築できる	指導医の援助の上で構築できる
病歴聴取、診察、検査、鑑別診断、治療の適切な実践	十分かつ適切で効果的に実践できる	適切に実践できる	十分ではないが、基本的実践ができる	指導医の援助の上で基本的実践ができる
エビデンスの適用（EBM）、患者家族が語るナラティブの尊重（NBM）	複雑・稀な病態に対しても、適切なエビデンスの適用と、十分なナラティブの尊重ができる	一般的・重要な病態に対して、適切なエビデンスの適用と、十分なナラティブの尊重ができる	十分ではないが、エビデンスの適用とナラティブの尊重ができる	EBM と NBM の必要性を認識できる
指導医・他の専門職へのコンサルテーションと社会資源の活用	複雑・稀な病態に対しても、適切に実践できる	一般的・重要な病態に対して，適切に実践できる	指導医の援助があれば、適切に対応できる	指導医の指示で、単純な対応ができる

F	診療上の問題を起こすことがある

Ⅰ　子どもの総合診療医２：成育医療

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
患児の成長に伴って変化する経過を考慮した診療	複雑・特異的な経過であっても、考慮できる	一般的な経過について、考慮できる	十分ではないが、考慮できる	必要性を認識できる
成人期、次世代まで見据えた成育医療（治療・管理）の実践	複雑・特異的な病態に対しても、長期的な視野に立って成育医療を継続して実践できる	一般的・重要な病態に対して、成育医療を意識して実践できる	指導医の援助があれば、一般的・重要な病態に対して成育医療を実践できる	成育医療の必要性を認識できる

F	診療上の問題を起こすことがある

Ⅰ　子どもの総合診療医３：小児救急医療

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
小児救急医療の特性の理解、状況判断と救急対応	複雑・重症例に対して、適切かつ迅速に対応できる	一般的な救急疾患に適切に対応できる	指導医の援助があれば、一般的な救急疾患に対応できる	指導医の指示で、単純な対応ができる
救急現場での他の専門家へのコンサルトとそのタイミング	複雑・重症・緊急症例に対して、適切かつ迅速にコンサルトできる	一般的な救急疾患について、必要性を判断してコンサルトできる	指導医の援助があれば、コンサルトできる	指導医の指示で、単純な対応ができる
養育者の不安への配慮と説明・対応	複雑・重症・緊急症例に対しても、不安を十分に配慮して説明・対応できる	一般的な救急疾患について、不安に配慮して説明・対応できる	指導医の援助があれば、不安に配慮できる	不安に配慮する必要性を認識できる

F	診療上の問題を起こすことがある

Ⅰ　子どもの総合診療医４：地域医療と社会資源の活用

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
地域の小児医療システム・社会資源・制度等の理解、周辺組織との協力の下での一次・二次医療の提供	地域と社会資源を十分に理解し、周囲と協力して、独力で十分な一次・二次医療を実践できる	地域と社会資源を理解し、周囲と協力して、独力で一次・二次医療を実践できる	指導医の援助があれば、周囲と協力して、基本的な一次・二次医療を実践できる	小児地域医療の重要性を認識できる
地域の小児保健医療計画への関心、関係する専門職との連携	積極的に参画し、適切な連携と助言・指導ができる	積極的に参画し、適切な連携ができる	地域保健に関心をもち、連携の必要性を認識できる	地域保健の必要性を認識できる

F	診療上の問題を起こすことがある

Ⅰ　子どもの総合診療医５：患者・家族との信頼関係

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
子どもと家族の背景を踏まえたコミュニケーション・信頼関係の構築	多様な背景を十分に尊重しながら、強固な信頼関係を構築できる	多様な背景を把握しながら、信頼関係を構築できる	十分ではないが、信頼関係を構築できる	指導医の援助の上で信頼関係を構築できる
疾病と治療が家族に及ぼす心理・社会的影響の考慮と対応	家族全体への心理・社会的影響を十分考慮して、適切な対応ができる	家族への心理・社会的影響を考慮して、対応できる	指導医の援助があれば、家族への心理・社会的影響を考慮できる	心理・社会的影響を認識できる
子どもの置かれた状況への理解と、子どもの立場に立った医療実践	子どもの状況を十分理解し、子どもの立場も考慮した医療実践ができる	子どもの状況を理解し、必要な医療を実践できる	指導医の援助があれば、子どもの状況を考慮した医療を実践できる	子どもの置かれた状況を認識できる

F	患者･家族とのトラブルを起こすことがある

Ⅱ　育児・健康支援者１：プライマリケアと育児支援

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
子どもの多様な健康問題と common disease の認識、家族の不安の把握と対応	多様で複雑な健康問題と common disease を正しく認識し、適切に対応できる	一般的な健康問題と common disease に対応できる	指導医の援助があれば、基本的な対応ができる	子どもの健康問題を認識できる
様々な育児問題の認識と支援	日常診療の中で表在化していない育児問題も正しく認識し、家族の様々な問題に適切に支援できる	一般的な育児問題を認識し、必要な支援ができる	指導医の援助があれば、育児問題を認識して、基本的な支援ができる	育児問題を認識できる

F	診療上の問題を起こすことがある

Ⅱ　育児・健康支援者２：健康支援と予防医療

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
予防接種・乳幼児健康診査の実施、その他の健康支援と予防医療の提供	すべての年齢層の子どもに対して、健康診査・予防接種にとどまらない積極的、かつ多様な健康支援と予防医療を提供できる	すべての年齢層の子どもに対して、健康診査・予防接種など、基本的な健康支援と予防医療を提供できる	指導医の援助があれば基本的な健康支援と予防医療を提供できる	指導医の指示で、健康支援と予防医療に協力できる

F	診療上の問題を起こすことがある

Ⅲ　子どもの代弁者

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
小児医療上の問題、子どもの社会参加と社会問題への関心	様々な小児医療上の問題と広範な社会問題に対して強い関心を示す	主要な小児医療上の問題、社会問題に対して関心を示す	一部の医療上の問題、社会的問題に関心を示す	指導医の援助があれば、小児の医療・社会問題を認識できる
子どもの代弁者としての小児科医の役割の認識、子どもと家族の意向尊重、問題解決のための必要な方策の実践	代弁者としての小児科医の役割を認識し、問題解決に向けて自ら実践できる	代弁者としての小児科医の役割を認識し、問題解決に向けて努力できる	代弁者としての小児科医の役割を認識できる	指導医の援助があれば代弁者としての役割を認識できる

F	子どもの代弁者という概念を理解できない

Ⅳ　学識・研究者１：高次医療・病態研究

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
難治性疾患などの複雑な病態の理解と最新知見の収集、現状の医療の考察	自ら積極的に最新知見を収集し、現状の医療を深く考察できる	指導医とともに、最新知見の収集と現状の医療を考察ができる	指導医の指示で、最新知見の収集ができる	最新知見の収集の重要性を認識できる
主治医としての高次医療の経験、病態・診断・治療法の研究への参画	高次医療を主体的に実践し、学習に活かし、研究に主体的に参画できる	高次医療を経験し、学習に活かし、研究に協力できる	高次医療を経験し、研究に関心を示す	高次医療と研究の必要性を認識できる

F	研究の重要性を理解できない

Ⅳ　学識・研究者２：国際的視野

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
小児医療・保健に関わる国際情報の収集と、医療現場での応用・実践	国際的情報を積極的に収集し、現場で議論・実践・応用できる	指導医とともに国際的情報を収集し、現場で議論・実践できる	指導医の指示で、国際情報の収集ができる	情報収集の必要性を認識できる
調査・研究成果の国内外学会での発信	主体的に論文作成や学会発表ができる	指導医の援助のもとで、主体的に論文作成や学会発表ができる	指導医の指示のもとで、論文作成や学会発表ができる	論文作成や学会発表の重要性を認識し、手伝いができる

F	国際的視野を持つことができない

Ⅴ　医療のプロフェッショナル１：医の倫理

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
子どもの人格の尊重、成長・発達段階に合わせた説明と本人・家族の同意	子どもの人格を十分尊重し、複雑な病態・状況であっても、十分にわかりやすい説明を行い、同意を受けることができる	子どもの人格を尊重し、一般的な病態について、適切な説明と同意を受けることができる	子どもの人格に配慮し、指導医の援助のもとで、説明と同意を受けることができる	子どもの人格尊重の必要性を認識できる 適切な説明と同意の重要性を認識できる
患者と家族のプライバシーに関する倫理的な配慮	十分な倫理的な配慮ができる	おおよそ倫理的な配慮ができる	最低限の倫理的配慮ができる	倫理的な配慮の必要性を認識できる
小児科医としての社会的・職業的責任と医の倫理の理解と職務の遂行	倫理的に十分に職務を全うできる	判断が難しい場合には、指導医の援助を求めながら遂行できる	常に指導医の援助を必要とする	倫理的な職務遂行の重要性を認識できる

F	倫理的な問題を起こすことがある

Ⅴ　医療のプロフェッショナル２：省察と研鑽

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
多職種、患者・家族など周囲からの評価を受け止めた上での実践	周囲からの評価を正しく謙虚に受け止め、十分に実践に活かせる	周囲からの評価を受け止め、自ら部分的に実践に活かせる	周囲からの評価を受け止め、指導医の援助のもとで実践に活かせる	評価を受け止めることができる
診療の自己省察と自己研鑽の継続	絶えず自己省察と自己研鑽して向上をめざす	定期的に自己省察と自己研鑽ができる	指導医の援助のもと、基本的な省察と研鑽ができる	指導医の援助の上で、省察と研鑽の習慣を身につける

F	評価・省察が受け入れられない

Ⅴ　医療のプロフェッショナル３：教育への貢献

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
後進のロールモデルと教育貢献	後進のロールモデルとしてふるまい、教育に積極的に貢献できる	ロールモデルとして努力し、教育に協力できる	ロールモデルの役割と後進の教育の必要性を認識している	自らの姿勢や教育の必要性を認識できる
社会に対しての小児医療に関する啓発的・教育的取り組みの実践	主体的に啓発・教育活動ができる	啓発・教育活動に積極的に協力できる	指導医の指示があれば、啓発・教育活動に協力できる	指導医の指示の下で、単純な啓発・教育活動に協力できる

F	教育に協力しない

Ⅴ　医療のプロフェッショナル４：協働医療

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
チーム医療の重要性と効果の理解、多職種との協調とチーム医療の実践	チーム医療の重要性と効果を十分に認識し、多職種と協調して、責任をもってチーム医療を主体的に実践できる	チーム医療の重要性と効果を認識し、多職種と協調して、チーム医療を実践できる	チーム医療の重要性と効果を認識して、指導医の援助のもとで基本的な実践ができる	チーム医療の重要性を認識し、指導医の指示の下で、チームに参加できる
リーダーシップの発揮、多職種への敬意とサポート	チーム内の多職種を、敬意をもってサポートし、高いリーダーシップを発揮できる	チーム内の多職種を、敬意をもってサポートし、リーダーシップを発揮できる	十分ではないが、サポートやリーダーシップの重要性を認識し、実践する姿勢がある	サポートやリーダーシップの重要性を認識できる

F	医療チーム内でトラブルを起こすことがある

Ⅴ　医療のプロフェッショナル５：医療安全

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
医療安全管理・感染管理の理解、事故防止策の考察と実践	十分な知識を持ち、適切な安全対策、感染対策、事故防止策を講じ、具体的に指示できる	基本的な知識を持ち、適切な安全対策、感染対策、事故防止策を講ずることができる	指導医の援助があれば、安全対策、感染対策、事故防止策を講ずることができる	医療安全、感染管理の重要性を認識し、指示に従って単純な対策を講じることができる
医療事故・インシデント等が発生した際の対処	自ら速やかに適切な対処ができる	指導医の援助のもとで、自ら適切に対処できる	指導医の指示に従って対処できる	必要な対処法を認識できる

F	医療事故・インシデントなどの反復や隠ぺいが見られる

Ⅴ　医療のプロフェッショナル６：医療経済

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
医療保険制度、医療補助、社会資源の理解と家族負担の軽減を考慮した医療の実践	制度・資源に精通して，家族の負担軽減を考慮して医療実践ができる	制度・資源の概略を理解して、家族の負担軽減を考慮できる	家族の負担軽減の考慮を部分的にできる	家族の負担軽減の必要性を認識できる
医療の費用対効果の適切な判断と、医療経済を踏まえた医療の実践	医療経済を踏まえて、自ら最適な医療を選択し、実践できる	医療経済を考慮した上で、標準的な医療を実践できる	指導医の援助があれば、医療経済を考慮した医療を実践できる	医療経済を考慮した医療の必要性を認識できる

F	家族の負担や医療経済を無視した問題を起こすことがある